

## 令和元年度第1回当別町地域公共交通活性化協議会議事概要

### 1 開催日時及び開催場所

日時：令和元年6月11日（火） 13:30～15:00

場所：当別町役場 第二庁舎 2階 会議室

### 2 出席委員

別紙委員名簿のとおり

### 3 協議会の概要

人事異動に伴い委員の変更があった。

新たな委員として北海道運輸局 札幌運輸支局 首席運輸企画専門官 杉澤 武則 氏

北海道 石狩振興局 地域創生部 地域政策課長 栗重 理香 氏

北海道開発局 札幌開発建設部 札幌道路事務所 計画課長 小川 達也 氏

当別町PTA連合会 理事 明石 実 氏 の4名が新たに委嘱され委員となった。

北海道運輸局 札幌運輸支局 首席運輸企画専門官 杉澤 武則 氏が前任から引き継ぎ、副会長として選任。

(1) 報告事項1「平成30年度当別町地域公共交通活性化協議会実績報告について」及び「平成30年度当別町地域公共活性化協議会決算及び監査報告について」

資料1及び資料2に基づき事務局より説明した。

また、吉成監査委員から監査報告を行った。

高橋委員：資料1のP24に記載の補助金（幹線系統確保維持）は直接事業者に支払われるのか。

また、同ページに記載している当別町の事業者負担金を資料2の最終的な決算額で表記すべきでないか。

事務局：補助金（幹線系統確保維持）はお見込みの通り運行事業者である下段モータースへ直接支払われている。決算書の金額と違う表記になっているのは、当別町としての負担額はあくまでも売電収入額を加えた25,489,000円支払いしているので、このような表記となっている。

(2) 議題1「令和元年度当別町地域公共交通活性化協議会変更予算（案）について」

その他（1）「トヨタ・モビリティ基金を活用した当別版 -Local MaaS- について」と関連するため、資料3及び資料4：その他（1）に基づき事務局より一括説明した。

竹原委員：当別版 -Local MaaS- 事業は2か年事業ということだが、2か年で補助金を申請しているのか。また、決算は1年度ごとにするのか。そうであれば、翌年度に繰り越すこともあるのか。

事務局：2か年で実施するという申請をしている。会計については単年度毎で管理する形となる。

年度末の執行残の処理については、トヨタ・モビリティ基金の指示に従い執行していくこととなる。

高橋委員：アプリは町独自のものとして町の運行形態に合わせたものを開発するのか。

事務局：当別町に合う形のアプリ開発というものが第一にある。一緒に事業をさせていただくメディアマジックさんは他の町でこういったアプリの開発実績があり、持っているノウハウで当別町に合ったアプリを開発していただくことになる。

(3) 議題2「令和元年度当別町地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について」

資料4に基づき事務局より説明した。

杉澤委員：補足いたします。令和2年度の国庫補助の上限額は国交省からまだ通知が来ていないため暫定とさせていただく。また、ふれあいバスの運賃を消費税が10月に10%となった後も税込み200円ということで、今まで通り200円とするのか議論いただきたい。

事務局：2コインで乗れるというのが我が町のふれあいバスの大きなところだと思っているので、200円でという考えがあるが、運行事業者の考えもあるので申請に間に合うタイミングで検討する。

(4) その他(2)「JR 札沼線廃止に伴う代替バスについて」

資料：その他(2)に基づき事務局より説明した。

平成30年12月20日に各町とJRで廃止に伴う支援内容についての覚書を締結し、北海道医療大学から新十津川間の運行を廃止する旨の同意がなされ、この段階で廃線が決まった。札沼線の廃止が令和2年の5月7日となるが、代替バスは4月1日から運行を開始する。料金は、町内の乗り降りには200円、月形に行く場合は400円、浦臼までは乗り換えがあるが、乗り継ぎ券を発行し600円とする。また、町界を含む4停留所内の移動は200円とする。

(5) その他(3)「当別スウェーデンマラソン実施に伴うバスの迂回について」及びその他(4)「今後のスケジュールについて」

資料：その他(3)及び資料：その他(4)に基づき事務局より報告した。当別スウェーデンマラソンは昨年と迂回路が変更している点について報告した。また、今後のスケジュールの説明をした。

以上